

新型コロナウイルス感染拡大防止のための

援助活動中のお願い

令和3年1月



日ごろは当事業へのご理解・ご協力ありがとうございます。

昨年より新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式を送ることになりました。特に11月から12月にかけて感染が拡大し、大阪では医療機関が逼迫してきたという報道もあり、令和3年は外出自粛の年明けとなりました。

ファミリーサポートセンター事業については、昨年春の『緊急事態宣言』が出された時と同様、援助活動の休止はしていません。ただし、依頼会員と提供会員の相互援助の中では、今まで以上に感染予防対策をお互いに徹底していただくとともに、自分や家族、周りの方の体調の把握を行い、無理のない援助活動をお願いいたします。

感染経路を理解しましょう!

飛沫

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出される

接触

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で回りのものに触れるとウイルスが付着する

エアロゾル

短距離ではエアロゾル（空気中にフワフワ浮いている微粒子）による感染がある → 換気が重要



感染予防対策の基本

手洗い

手や指についたウイルスは洗い流すことが最も重要。ハンドソープなどで10秒もみ洗い、流水で15秒すすぐ

換気

マスク着用

3つの密を避ける

- ・換気の悪い密閉空間
- ・多数が集まる密集場所
- ・近距離で会話をする密接場面

* 相互援助活動における注意事項 *

● 活動中はマスクを着用しましょう

子どものマスク着用は、子ども自身マスクが気になり顔をさわる頻度が増えるなど感染のリスクが高まることもあるので、提供会員と依頼会員で相談の上、判断してください。ただし、2歳未満のお子さんにとってマスクは呼吸をしにくくさせることから使用はやめましょう。

● 手洗い・アルコール消毒の励行

預かりの援助ではまず子どもと大人も一緒に手洗いをしましょう。預かりで使用する部屋や子どもが触れる場所（物・おもちゃなど）を援助活動前にアルコール消毒をしておきましょう。

● 手拭きタオルなど子どもとの共用は避ける

依頼会員は子どもが使用するタオルを持参しましょう。また、水分補給のためのお茶などの飲み物も持参しましょう。

● 提供(両方)会員および依頼会員とも自分や家族が体調の悪いときは必ず活動を中止しましょう